

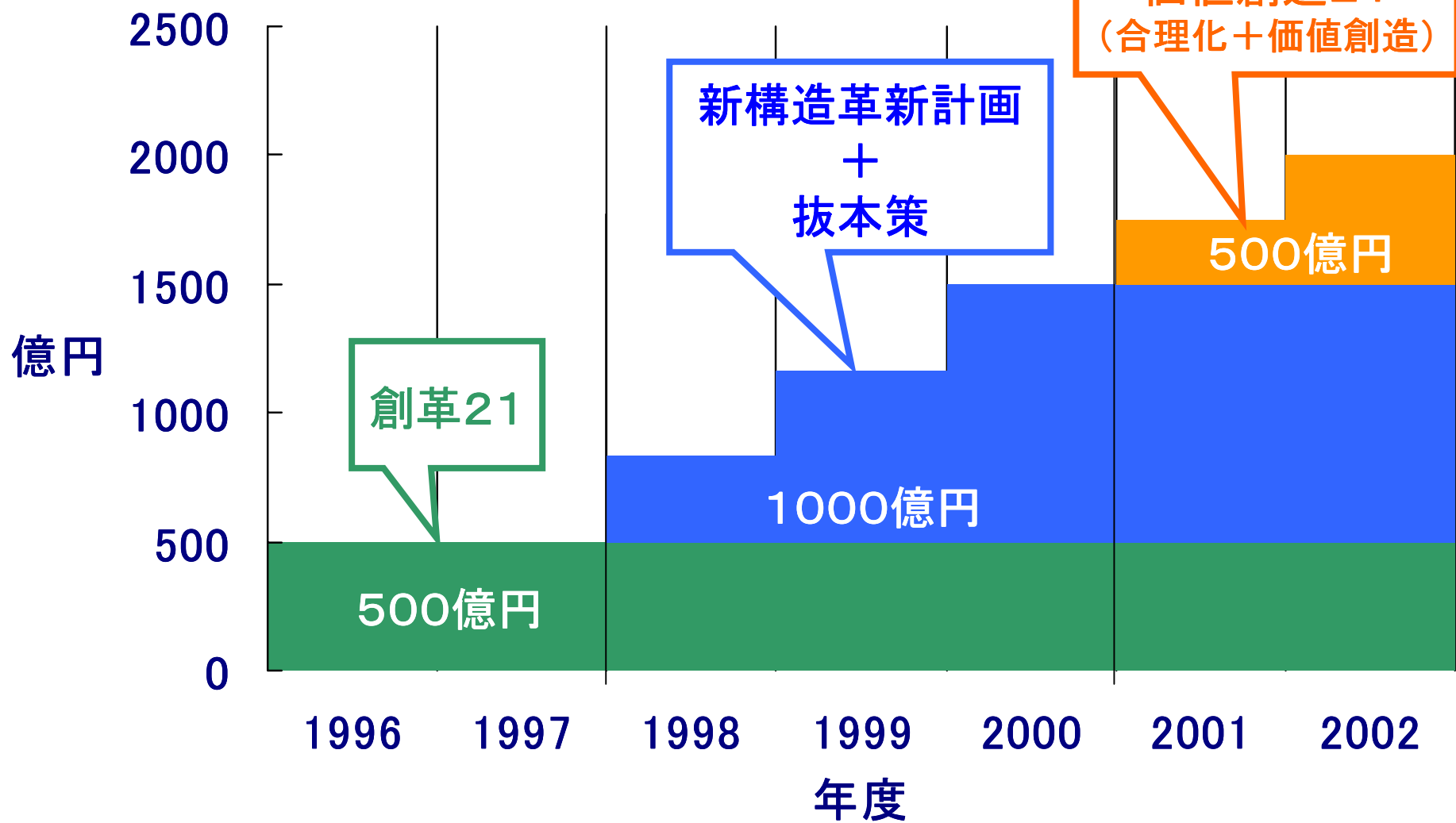
新たな企業価値の向上を目指し 新2ヶ年経営計画「価値創造21」始動

2001年5月30日

コスモ石油 代表取締役会長 兼 社長
岡部 敬一郎

1. これまでの合理化実績と今後の目標

単体



2. 「価値創造21」目標の骨子

2



3. 経営の数値目標とその背景

3

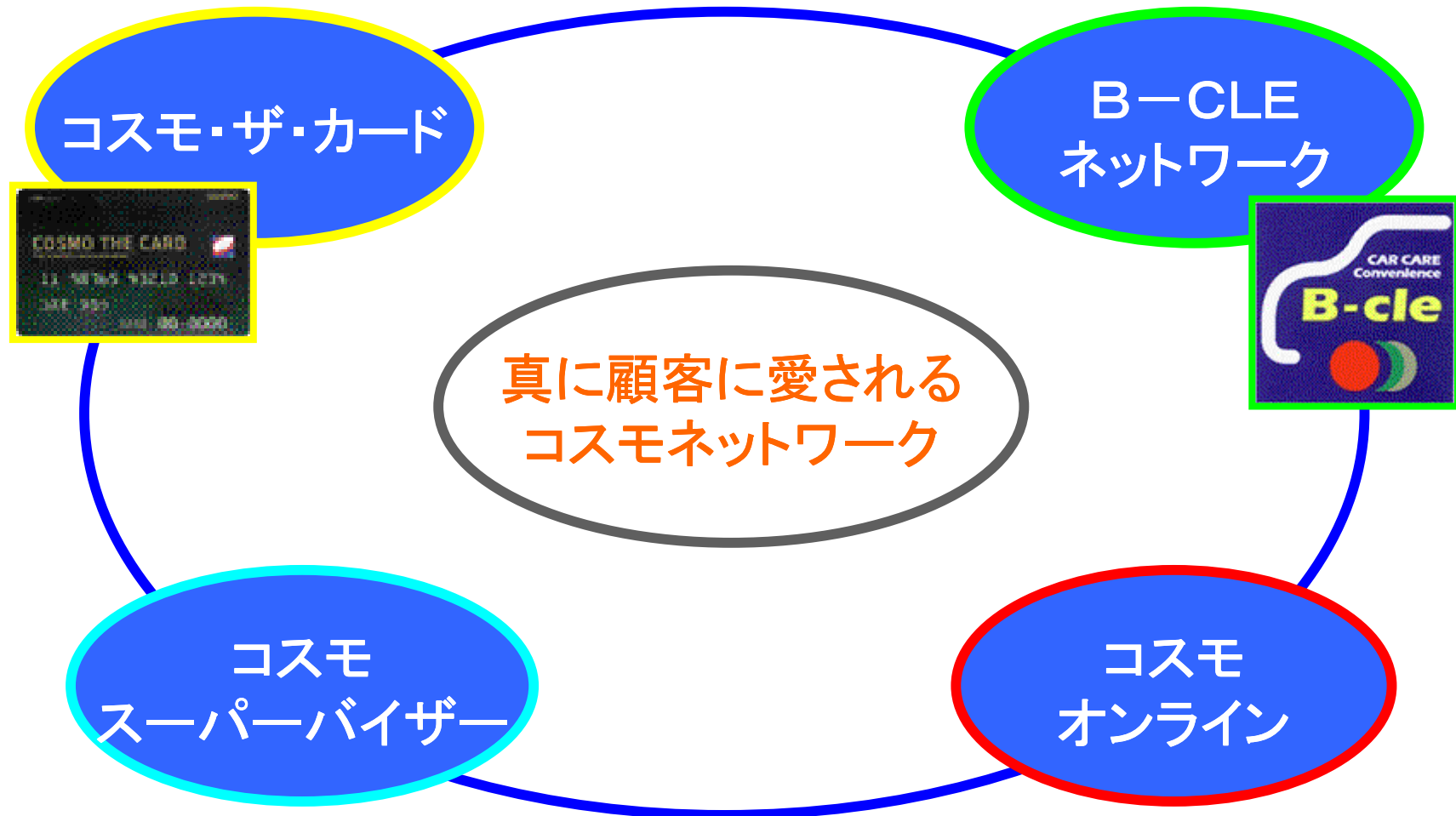
単体

目標経常利益 300億円

- ROE 10%
- 自己資本比率 20%
- 有利子負債依存度 40%

4. 販売部門の差別化戦略

4



5. B/Sのスリム化の進捗状況について

①これまでに実行した資産の流動化

- SS証券化 340億円
- 特約店支払いサイト短縮 200億円
- 資産の処分 390億円
(遊休地、SS、油槽所他)

合計 930億円

②今後の目標額

- 売り掛債権／資産の流動化
- 資産処分

合計 1,070億円



6. 日石三菱との提携 さらなる合理化の追求

6

原油部門

10億円／年

- タンカー用船・運行の一本化
- 外航タンカー構成の見直し

精製部門

30億円／年

- 千葉・坂出の2次装置のフル稼働化
- BTXの増産
- 半製品の転送削減
- 触媒の共同購入

提携効果

150億円／年

物流部門

100億円／年

- 製油所からの転送運賃削減
 - 油槽所の統廃合
 - ローリーの統廃合
 - 内航タンカーの共同運航

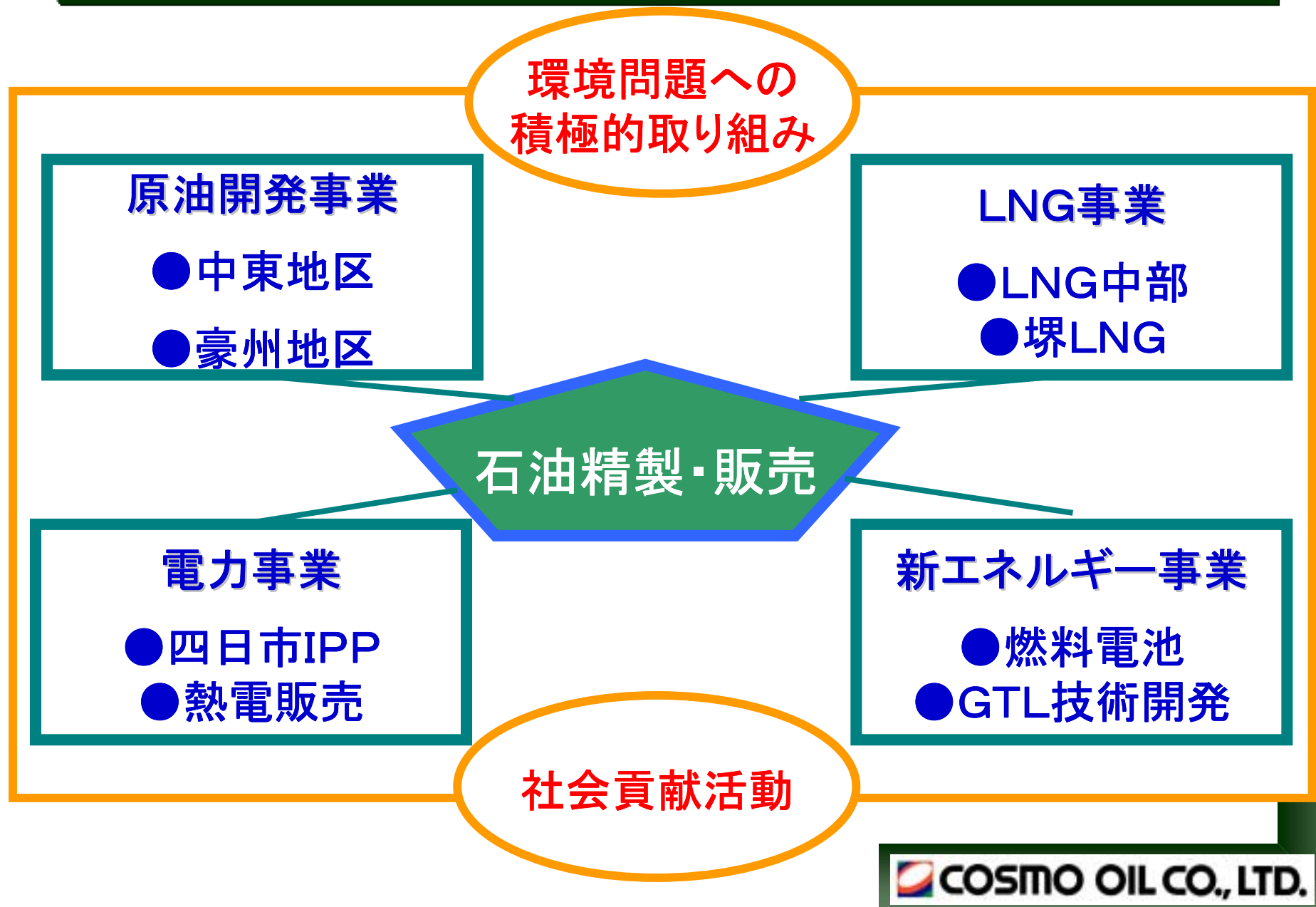
潤滑油部門

10億円／年

- 生産体制の見直し
- 添加剤・容器の共同購入

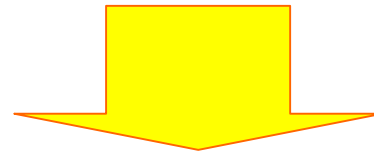
7. 社会と調和の取れた総合エネルギー企業としての事業展開

7



「最強のコスト競争力を持つコスモネットワーク」

「真に顧客に愛されるコスモネットワーク」



グループ一体となって「価値創造21」の目標に邁進